

## 1. 2009 年度後期授業アンケート結果の概要

### 1-1. 2009 年度の実施趣旨と従来との変更点

#### 【授業アンケート実施目的】

- (1) 科目担当者が個別に授業改善を行うための資料、また教育自己点検活動のための資料を得る。
- (2) 教員相互に、関係科目の改善について課題を共有し改善を行う資料とする。また、アンケート結果を起点として組織的に教育改善に取り組む機会を提供する。
- (3) 授業運営の学生参画の必要性を意識し、学生の学習姿勢・理解度・満足度を知るための資料を得る。また、学生の積極性と責任意識を喚起する機会を提供する。
- (4) 学部・学科としてのカリキュラム改善のための資料を得る。
- (5) 大学全体として教育力の向上に必要な点検資料を得る。

#### 【2009 年度変更点】

授業アンケート用紙の記載事項を一部変更した。

- ① 学科等 「文化政策(1 回生は都市環境デザイン)」→「文化政策(1・2 回生は都市環境デザイン)」
- ② コース・専攻 文化財 3: 修復・史跡整備 を削除(コース該当学生 卒業のため)

### 1-2. 調査対象

今回の授業アンケートの調査対象科目は 2009 年度後期および春期集中開講、通年開講の全科目を対象とした。アンケート回答者は受講登録をしている学部学生および大学院生とし、原則として特別聴講学生、科目等履修生は対象外としたが、担当教員の判断で特別聴講学生および科目等履修生のデータが一部算入されている場合がある。

### 1-3. 調査期間

【後 期】2010 年 1 月 6 日(水)～1 月 27 日(水)

【春期集中】2010 年 2 月 1 日(月)～2 月 11 日(木)

アンケートは授業時間を 15 分ほど利用し、学生が選択式の回答と自由記述が可能な時間を保証した。教員が配布と説明をおこない、その時間内に回収する集合調査法を採用した。

\* 2009 年度後期の回収率は全体で 74.89% となった。

(参考: 09 前期/77.72% 08 後期/74.89% 08 前期/77.66% 07 後期/76.28% 07 前期/78.66%)

### 1-4. 調査設計

調査項目の基本構造は前年度までと同じである。

- (1) 学部・学科・回生・コースなどの基本データ
- (2) 授業についての選択項目 16 項目
- (3) 授業についての自由記述 4 項目

基本データおよび選択項目については、マークシートを採用し、データ処理をおこなった。

自由記述は教学向上を目的に、授業担当者に返却した。

## 2. 2009 年度後期授業アンケート結果の特徴と傾向

### 2-1. 授業形態別の結果比較

#### a. 授業形態別 各ポイントの比較 … 別紙資料 P1-3

##### ●評価ポイントは微減も、前年度同期とほぼ同水準

- 【全体】全項目で僅かに低下、「総合」が 4.07。前年度同期から 0.04 ポイントの低下。  
【講義系】「配慮」で 0.09 ポイント低下したが、「総合」は前年度同期とほぼ同水準。  
【語学系】大きな変化なし。  
【演習系】「総合」は 4.21。前年度同期と比較して 0.08 ポイント低下。  
「授業外学習」「興味」「学習意欲」で 0.09、「理解」「自主学習」で 0.10 ポイント低下。  
【実習・実技系】ほとんどの項目で低下。ただし「総合」での低下は 0.05 ポイントにとどまっている。  
目立ったのは「理解」0.12、「出席」0.13、「学習意欲」0.18 ポイントの低下。

#### b. 授業形態別「総合」結果の分布 … 別紙資料 P4

##### ●前年度同期とほぼ同傾向、[演習][語学]で 2 点台にも分布

- 「総合」についての結果の授業形態別分布に関して  
【講義】2 点台から 5 点まで広く分布。4.4 以下の分布傾向は前年度同期とほぼ同じであるが、4.5 以上が減少している。  
【演習】前年度同期とほぼ同様の傾向で、多くの科目が 4 点台以降に分布。高ポイントになっているが、一方で 2~3 点台の科目もある。3.0~3.4 ポイントは微増。  
【語学】前年度同期とほぼ同じ傾向で、2 点台から 5 点までゆるやかに分布。  
【実習・実技】サンプル数が少ないが、3.9 ポイント以上で総じて高い評価。

#### c. 授業形態別・学科ごとの「総合」結果の分布 … 別紙資料 p.5~9

##### ●学科ごとに「総合」結果の分布傾向が異なる

学科ごとの「総合」の結果について、授業形態別(講義・演習)の分布では、かなり傾向が異なる。

### 2-2. 「総合」項目と他の項目との相関関係 … 別紙資料 P10

##### ●前年度同期よりも、相関関係の強い項目が増加傾向にある

- ・全形態に共通して相関関係が強い項目は「学習目標」「意欲」「興味」「触発」であった。
- ・このほかに、「明瞭」「将来」「改善」「理解」も強い傾向がある。
- ・全形態において「意欲」が 0.09~0.21 上昇し、相関関係を強めている。これは 07 後期と比較しても強くなっていることがわかる。
- ・実習・実技では、「意欲」「授業外学習」「理解」「興味」「触発」「出席」「学習意欲」「自主学習」の係数が 0.10(「興味」)~0.51(「理解」)上昇している。ただし、「興味」を除く項目は、07 後期、08 後期、09 後期をみると乱高下する傾向があり、09 後期のデータのみで相関関係が強まったとは言い切れない。この点は、データ個数が極端に少ない(09 後期/13、08 後期/18、07 後期/8)にも起因していると考えられる。

### 2-3. 学科別の集計結果

#### a. 学科別・科目別の全体集計 … 別紙資料 P11~12

##### ●科目、学科によりばらつきがみられる

[ベーシックスキル(情報)]

- ・全項目で 0.11~0.45 ポイント低下、「総合」も 0.30 ポイント低下している。

**[ベーシックスキル(外国語)]**

- ・「総合」で0.12ポイント上昇など、前年度同期の低下傾向が改善。

**[ベーシックスキル(日本語)]**

- ・「総合」で0.09上昇し、4.58ポイントで、前年度同期の低下傾向が若干改善しつつある。  
(「私語・環境」で0.28、「改善」で0.27上昇)

**[ベーシックスキル(日本語表現)]**

- ・2007年度および2008年度後期のデータがないため、比較できない。

**[ベーシックスキル(数学)]**

- ・前年度同期に比べ、「総合」で0.13ポイント回復。低下傾向改善。
- ・「理解」の0.25を筆頭に8項目で改善。

**[書道]**

- ・ほとんどの項目でポイントが上昇。「総合」でも0.17上昇し、4.69ポイント。
- ・前年度同期からの全項目4点台をキープ。

**[文化財]**

- ・全項目で0.06(「意欲」)～0.22(「自主学习」)ポイント低下。「総合」でも0.17ポイント下げ、3.94。

**[文化政策／都市環境デザイン]**

- ・低下傾向に改善せず。「総合」で0.11低下するなど、全項目で低下。

**[現代マネジメント]**

- ・上昇傾向維持。「総合」も0.17上昇し、4.11。「授業外学習」「改善」の0.18を筆頭に全項目でポイント上昇。

**[キャリア(デザイン入門)]**

- ・上昇傾向を維持。「総合」も0.10ポイント上昇し、4.23。

**[キャリア(全体)]**

- ・「総合」の低下は0.06だが、全項目で低下。特に「配慮」で0.28ポイントの低下。

**[文学部研究科]**

- ・上昇傾向が止まり、「総合」で0.41低下し、4.12。全項目で低下。
- ・「学習目標」で0.48、「授業外学習」で0.46、「私語・環境」で0.45ポイントの低下。

**[文化政策学研究科]**

- ・「総合」で5.00となり、半分以上の項目でポイント上昇。ただし、回収科目は1つ。  
\*実際には2科目で実施。1科目は学部との同時開講科目のため、学部でカウント。

**b. 学科別・ゼミ別の集計 … 別紙資料 P13～16**

**●1・2回生ゼミで低下傾向、3・4回生では上昇傾向**

**【1回生演習について】**

**[全学科]**

- ・「総合」は、4.18で前年度同期とほぼ同水準。
- ・ほとんど大きな増減はないが、「授業外学習が」が0.10ポイント上昇。

**[英語コミュニケーション]**

- ・「総合」が、前年度同期に比べ0.25ポイント上昇し、4点台に改善。
- ・「明瞭」「私語・環境」「改善」が大きく上昇。

#### [日本語日本文学／日本語日本文学コース]

- ・項目半数以上がポイントを下げ、「総合」も 0.14 下げたが、4 点台をキープ。
- ・「明瞭」「学習目標」「意欲」「授業外学習」などが大きくポイントを下げた。

#### [日本語日本文学／書道コース]

- ・ほとんどの項目でポイントが上昇し、「総合」も 0.20 上がり、4.67 ポイント。
- ・「明瞭」「配慮」「触発」「学習意欲」が大きく上昇。

#### [歴史]

- ・項目の約半数がポイントを下げ、「総合」も 0.14 下げたが、4 点台をキープ。
- ・「興味」「触発」などが大きくポイントを下げた。

#### [文化財]

- ・「総合」は前年度同期とほぼ同水準。
- ・「配慮」が大きく上昇し、逆に「明瞭」「自主学习」などがポイントを下げた。

#### [児童教育]

- ・全項目でポイントを上げ、「総合」でも 0.13 上昇し、4.13。
- ・「授業外学習」「私語・環境」「学習意欲」「自主学习」などの上昇が顕著。

#### [現代マネジメント／現代マネジメントコース]

- ・ほとんどの項目でポイントの低下、「総合」で 0.44 低下し、3.69 ポイント。
- ・「明瞭」「意欲」「配慮」「改善」などのダウンが大きい。

#### [現代マネジメント／救急救命コース]

- ・ほとんどの項目でポイントが下がったが、「総合」では前年度同期とほぼ同水準の 3.87 ポイント。
- ・「明瞭」「配慮」「理解」「自主学习」などが大きくポイントを下げたが、逆に「将来」「出席」はポイントを上げた。

#### [都市環境デザイン]

- ・ほとんどの項目でポイントを下げ、「総合」でも 0.20 ダウンの 3.96 ポイント。
- ・「興味」「触発」「学習意欲」「自主学习」が大きくダウン。

#### [看護]

- ・多くの項目がポイントを大きく上昇、「総合」も 0.39 上がり、4.54 の高水準。
- ・「明瞭」「学習目標」「興味」などの上昇が顕著。

### 【2 回生演習について】

#### [全学科]

- ・「総合」は 4.24 で、前年度同期より 0.19 下げたが、文化財を除く全学科で 4.0 以上。
- ・「理解」「興味」「触発」などのポイントが低下。

#### [日本語日本文学／日本語日本文学コース]

- ・項目のほとんどでポイントを下げ、「総合」も 0.26 下げ、4.12 ポイント。
- ・「明瞭」「学習目標」「意欲」などがポイントを下げた一方で、「出席」「自主学习」が上昇。

#### [日本語日本文学／書道コース]

- ・ほとんどの項目でポイントが低下、「総合」も 0.20 下がったが、4.68 ポイントの高水準。
- ・「将来」「理解」などが大きく低下。

#### [歴史]

- ・全項目がポイントを下げ、「総合」も 0.20 下げ、4.08 ポイント。

- ・「理解」「興味」「触発」などが大きくポイントを下げた。

#### **[文化財]**

- ・各項目はそれほど大きな落ち込みはないものの「総合」が4点台を割り込み、3.95。
- ・一方で「意欲」「理解」「出席」「自主学習」などのポイントが上昇。

#### **[児童教育]**

- ・前年度同期とほとんど変わらず、「総合」で4.57の高水準維持。
- ・「意欲」「配慮」などが上昇。

#### **[現代マネジメント／現代マネジメントコース]**

- ・ほとんどの項目でポイントが低下し、「総合」でも0.12ポイント下がって、4.22。
- ・「触発」「学習意欲」が下がったのに対して、「意欲」は0.10ポイント上昇。

#### **[現代マネジメント／救急救命コース]** \*前年度同期開講されておらず、比較データなし

- ・「総合」で4.09。
- ・「明瞭」「配慮」「将来」「出席」などが高く、逆に「学習意欲」「自主学習」が低い傾向。

#### **[都市環境デザイン]**

- ・ほとんどの項目でポイントを下げ、「総合」でも0.11ダウンの4.22ポイント。
- ・「配慮」「私語・環境」「出席」がダウン。

#### **[看護]**

- ・ほとんどの項目がポイントを下げ、「総合」も0.36下げ、4.21ポイント。
- ・「理解」「興味」「触発」などがポイントを下げた。

### **【3 回生演習について】**

#### **[全学科]**

- ・おしなべて上昇傾向。「総合」は、微増の4.47の高水準。
- ・「改善」「学習意欲」などが上昇。

#### **[英語コミュニケーション学科]**

- ・全項目で低下。「総合」で0.17下げたが、4.39の高水準。
- ・「学習目標」「改善」「自主学習」が大きく低下。

#### **[日本語日本文学／日本語日本文学コース]**

- ・「総合」で0.11低下したが、なお4.46ポイントの高水準。
- ・「明瞭」「授業外学習」「改善」などが上昇した一方、「私語・環境」「触発」などが低下。

#### **[日本語日本文学／書道コース]**

- ・全体に上昇傾向。「総合」も4.84ポイントの高水準。
- ・「学習目標」「学習意欲」「自主目標」が大きく上昇。

#### **[歴史]**

- ・項目の約半数がポイントを下げ、「総合」も0.14下げたが、4点台をキープ。
- ・「興味」「触発」などが大きくポイントを下げた。

#### **[文化財]**

- ・全体に上昇傾向。「総合」も上昇し、4.48ポイントの高水準。
- ・「意欲」「改善」「自主学習」が大きく上昇。

#### **[児童教育]** \*前年度同期に開講しておらず、比較データなし

- ・「総合」で4.47ポイントの高水準。
- ・全項目が4点台で、「配慮」「授業外学習」「将来」「出席」が特に高いポイント。

**【現代マネジメント／現代マネジメントコース】**

- ・ほとんどの項目でポイントを下げ、「総合」は0.31ダウンの4.26ポイント。
- ・「配慮」「将来」「理解」などが大きくポイントを下げた。

**【文化政策】**

- ・ほとんどの項目でポイントが上昇、「総合」でも0.35上がり、4.53ポイントの高水準。
- ・「明瞭」「改善」「触発」「自主学習」などが大きく上昇。

**【4回生演習について】**

- ・全学科で4点台をキープ、おしなべて高い水準にあり、「総合」の平均も4.56。
- ・日本語日本文学科／日本語日本文学コースで全項目が上昇し、「総合」も4.75の高水準。
- ・文化財学科は、「総合」で0.25下げ、4.33となったが、なお高い水準にある。

### 3. 基本データ

#### 3-1. 基本データ

以下の6項目とした。

- ①科目名 ②クラス ③学部(院)・学科 ④回生 ⑤コース ⑥科目コード

#### 3-2. 授業についての選択項目

下表の16項目について [1: とてもそう思う 2: まあそう思う 3: どちらともいえない 4: あまりそう思わない 5: まったくそう思わない]のうち、もっともよくあてはまると思うもの一つのみマークさせた。質問の意図を明確に理解させるために、各項目に「明瞭」などのようにキーワードを設定した。

<b>【A. 教員の授業方法について】</b>	
①教員は、指示や授業内容の説明を、はっきりと聞き取りやすく行った。	[明瞭]
②教員は、この授業の学習目標をわかりやすく示していた。	[学習目標]
③教員は、十分な準備を行い意欲的に授業を進めた。	[意欲]
④教員は、学生が自主的に質問や意見を述べられるよう配慮していた。	[配慮]
⑤教員は、授業外での学習方法(資料・課題など)を示していた。	[授業外学習]
⑥教員は、授業を妨害する私語等を少なくするよう環境を保っていた。	[私語・環境]
⑦この授業の内容は、将来役に立つものであったと思う。	[将来]
⑧この授業で感じた授業方法の問題点は、授業期間中に改善された。	[改善]
<b>【B. あなたの理解状況について】</b>	
⑨私は、この授業で学んだ内容をよく理解することができた。	[理解]
⑩私は、この授業の内容に興味・関心を持つことができた。	[興味]
⑪私は、この授業から新たな問題意識や知的好奇心を刺激されることが多かった。	[触発]
<b>【C. あなたの授業態度について】</b>	
⑫私は、この授業にまじめに出席した。	[出席]
⑬私は、この授業に関して教員の指示に従い熱心に勉強した。	[学習意欲]
⑭私は、教員からの指示以外に、自主的に学習して取り組んだ。	[自主学習]
<b>【D. 総合・その他】</b>	
⑮この授業は総合的にみて、良い授業だったと思いますか。	[総合]
⑯☆各担当教員の自由設定項目	[自由]

#### 3-3. 授業についての自由記述項目

上記16項目への選択項目以外に、自由記述式で授業について以下の4つの質問を設定した。

- ①この授業のどの点がよかったですか。
- ②この授業のどの点がよくなかったですか。

- ③良くなかった点を改善するためにはどうしたらよいと思いますか。  
 ④その他この授業で感じたことを自由に記入してください。

### 3-4. 回収・集計方法

(回収) 以下の方法で回収を依頼した。

①アンケート用紙の配布は封筒で行う。②授業内での回収については、基本的に、学生自身がアンケート用紙を封筒へ直接入れるように科目担当者が指示する。その際、回収封筒の場所を指示する又は教室内に封筒を回す、あるいはクラスサイズが大きい場合、適宜、列の一番後ろの学生が回収を行うなどして、学生が直接封筒へ入れるよう指示する。③その際、出席者すべて回収が終わるまで教室から出ないよう指示をする。④提出については、授業終了後、授業担当者が持参して提出する。

(集計) 回収した封筒について、大学で集約し、業者(京都電子計算)へ渡す。①基本データと、②授業についての選択項目を機械(OMR)で読みとり、②については読みとり時に[とてもあてはまる]を5点、[まあそう思う]を4点、[どちらともいえない]を3点、[あまりそう思わない]を2点、[全くそう思わない]を1点に置き換え、各種分析をおこなっている。授業についての自由記述項目については集計や統計処理は一切おこなっていない。集計後、授業担当教員に担当科目のアンケート結果へのコメントや受講者へのメッセージを依頼した。

### 3-5. 回答者のプロフィール

アンケート対象科目の受講登録者総数と、有効回答数および有効回収率は下表のとおりである。

#### 【回生別回収率】

	全登録者	1回生	2回生	3回生	4回生以上	院1回生	院2回生	院3回生以上	回生不明
登録者数	26,208	10,326	9,085	5,068	1,458	59	22	5	185
有効回収数	19,627	8,413	6,441	3,391	815	95	26	12	434
有効回収率	74.89%	81.47%	70.9%	66.91%	55.9%	161.02%	118.18%	240%	234.59%

(参考：2008 後期 74.89% 2008 前期 77.66% 2007 年後期 76.28% 2007 前期 78.66%)

\* (有効回答数) = (登録者数) - (欠席者)

\* (有効回収率) = (有効回答数) / (登録者数)

\* 2006 年度以降は、以下のように集計方法を改善したため、回収データ中の無効(不明)データは0。

- 1) 読みとり方式を OCR から OMR に変更し読み取り精度を高めた。
- 2) 科目コードと所属を、マークに加えて科目ごとに袋で管理した。

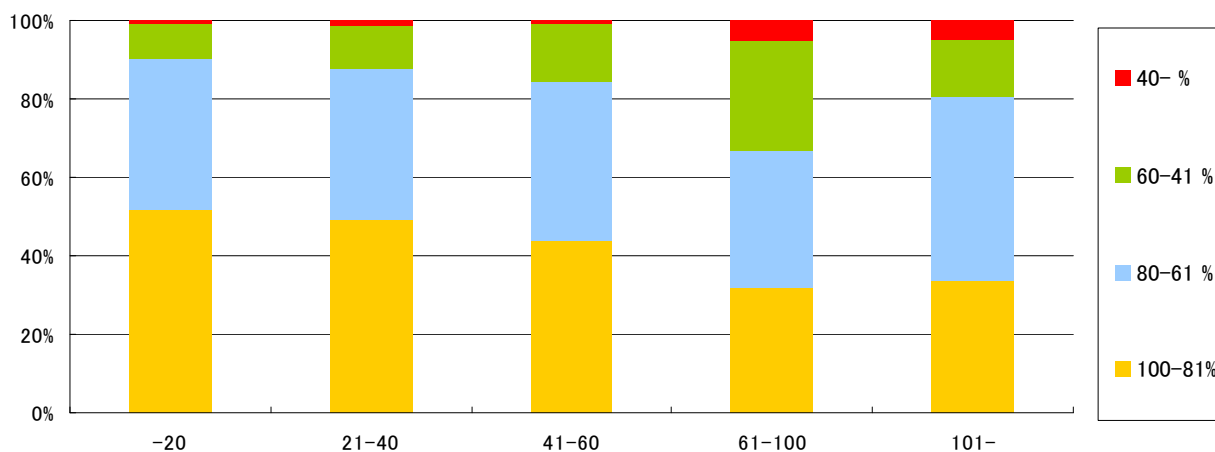
#### 【所属別回収率】

所属	英コミ	日文	歴史	文化財	児教	現マネ	文政	看護
登録者数	1,232	3,067	4,097	2,155	3,439	4,776	4,201	2,970
有効回収数	9,01	2,345	3,189	1,657	2,816	3,158	2,537	2,515
有効回収率	73.13%	76.46%	77.84%	76.89%	81.88%	66.12%	60.39%	84.68%
所属	院文	院政	院看護	学科不明				
登録者数	64	6	16	185				
有効回収数	35	39	81	354				
有効回収率	54.69%	650%	506.25%	191.35%				

\* 児童教育・看護の回収率が高く、現マネ・都市環境デザイン(文化政策)の回収率がやや低めであった。

【クラスサイズ別回収率】

回収率 クラス	100-81%	80-61 %	60-41 %	40- %	合計
-20 人	107	79	18	2	206
21-40 人	117	91	26	3	237
41-60 人	37	34	12	1	84
61-100 人	17	19	15	3	54
101-人	21	29	9	3	62
合計	299	252	80	12	643



### 3-6. 教員による⑩自由設定項目の利用状況

利用率は2.9%

\* 21 科目 / 717 科目 (自由設定項目の利用科目数 / アンケート実施全科目数)

\* 09 前期/4.0%、08 後期/8.2%、08 前期/5.6%、07 後期/6.1%、07 前期 3.5%

以上